

八代市における推進体制

か 加たって、かた 語って、協働によるまちづくり

～みんなで参加し、みんなで語って、みんなで協力しあうまちづくり～

活動拠点施設の機能充実

地域の総合的なまちづくりを行うための活動拠点施設の機能を充実していきます。

財政支援

地域課題や問題点に取り組むためには、安定した活動資金（自主財源）の確保が必要となります。市では、地域活動が円滑となるよう活動の一部を助成します。

新たな 住民自治組織

行政窓口の一本化

総合的なコミュニティ施策を展開するため、行政窓口を一本化します。
また、タテ割りとなっている補助金を可能な限り一本化し、効果・効率的に活用できるようにします。

啓発活動

協働に関する啓発活動や研修会、出前講座等、積極的な啓発活動に努めていきます。
啓発にあたっては、職員が協働への必要性を十分、理解、尊重した上で、取り組んでいきます。

まちづくりは、行政だけが行うものでも住民だけが行うものでもなく、お互いが協力して行っていくものです。

今後、八代市では、具体的な施策をお示しする実施計画を作成し、住民と行政の協働によるまちづくりへチャレンジしていきます。

加たって、語って、 協働によるまちづくり

住民自治によるまちづくりがはじまります

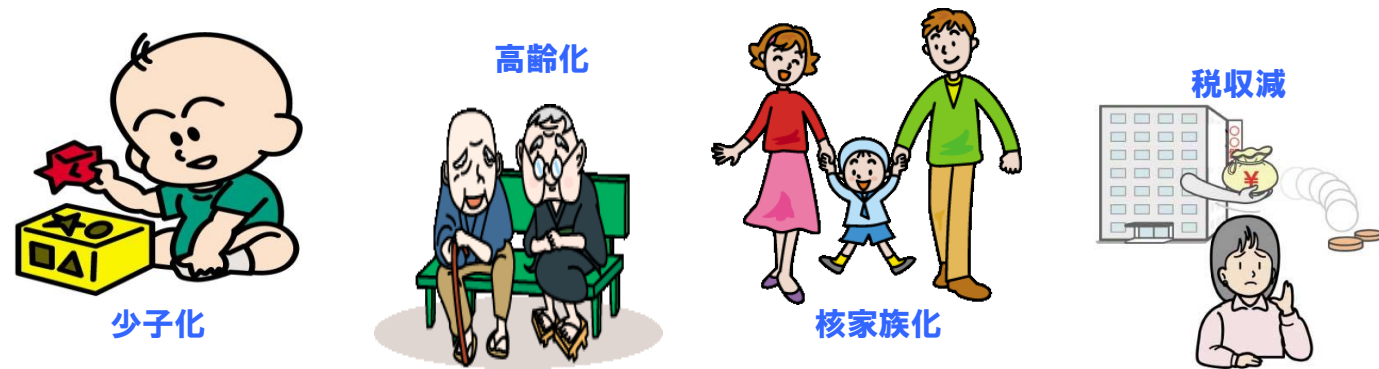


企画振興部地域振興課

地域はどう変わっているの？

地域のコミュニティ活動は、自治会を中心に進められています。しかし近年、少子・高齢化、核家族化、生活様式の多様化といった社会環境の変化によって、地域の抱える課題や問題も多種多様化しており、自治会だけの活動には限界があります。

一方で、地方分権の進展や地方税収入の伸び悩みにより、行政が何でもやっていける時代ではなくなってきています。



これからどう変わっていくの？何が必要なの？



市町村合併で八代市も広範囲となって、各地域が持つ課題や問題も多種多様になるとるよね。
地域のコミュニティ活動を担う人材が不足して、特定の人に負担が集中しとっよね。
核家族化で1人暮らしも多かけん、地域の福祉や防犯・防災など不安なことがいっぱい。

自分たちのまちは、自分たちで守り育てんぼん。
行政だけに頼らんで、わたしたち住民がたくさん参加して、自分たちの地域を将来どぎゃんしたかとか、どぎゃん活動をすればよかっかよく考えて、1人ひとりが責任を持って取り組まんばいかん。

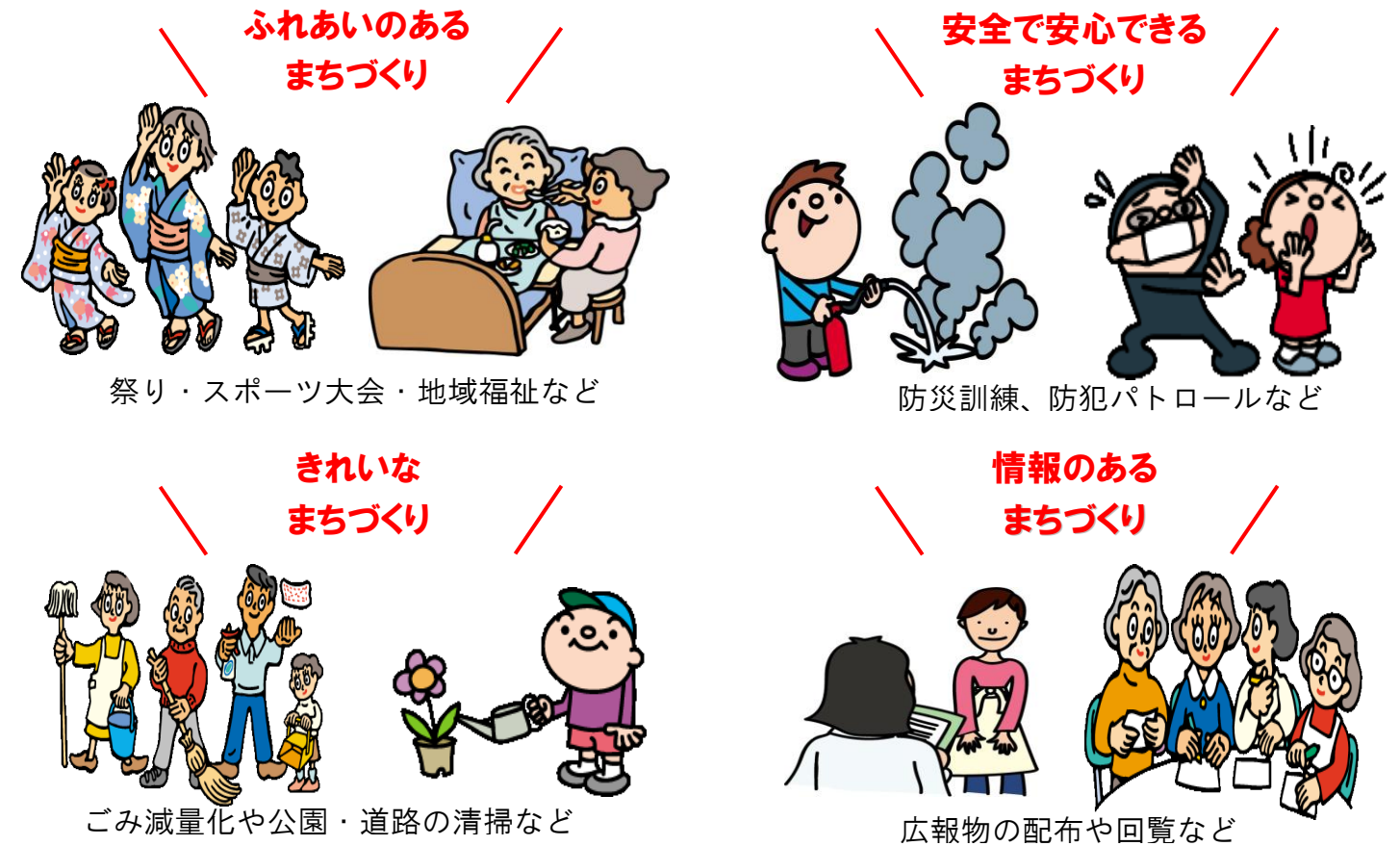


はじめよう、地域のコミュニティづくり

住民と行政が力を合わせて、地域の課題に対応していく時代が到来しています。また、地域活動の基本は自治会ですが、これからは役割を分担していく必要があります。

例えば、青少年育成や防犯・防災、運動会などは自治会単位よりも広い地域で考えて活動することが効果的であり、多くの人の参加が期待できます。

そのことから、活動のネットワーク化を図って、人材・ノウハウ・資金を有効に活用した地域づくりを進めると、地域は大きく生まれ変わります。



これからは、新たな住民自治組織をつかって、安心・安全な地域をみんなで築きましょう！

(先進地では、子どもを通じての連携がとりやすい小学校区単位での取り組みが行われています。)

- ◆ 組織：地域住民で構成され、地域の課題や問題点を協議し、解決に向けた意思決定及び活動機関
- ◆ 構成メンバー：当該区域で構成される自治会、地域活動団体、企業等
(町内会・地域婦人会・PTA・校区体育協会・老人会など)
- ◆ 活動内容：広報活動、公園・道路・河川等の清掃、防犯・防災、地域福祉、ごみ分別、地域のまつり、スポーツ大会等
- ◆ 運営費：自治会等の負担金、事業収入、寄付金、市補助金・委託金など